

藤沢市立鵜沼中学校改築事業 基本設計検討状況 中間説明会について

1. 再整備に向けた検討状況について

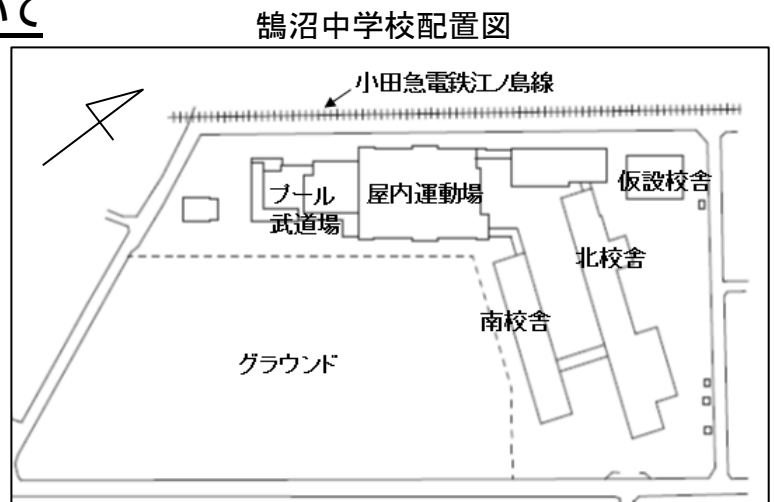
鵜沼中学校は、老朽化の解消、安全性の確保、教育環境の機能向上を図るため、施設全体の再整備事業の実施に向けて、令和4年度から令和6年度の3か年の予定で、基本実施設計業務を実施しております。

これまでは、既存建物の改修を計画している南校舎棟及び屋内運動場の建物について、劣化状況等の詳細な調査を行いました。

その結果、南校舎については、長期間使用していくためには補修や改修が必要な箇所が多数あることがわかり、当初の計画である長寿命化改修による工事費の削減や工事期間の短縮などの効果が見込めないことから、整備手法を改築（建替え）に変更し、北校舎と合わせ、校舎棟全体を建替える計画に変更することとします。

なお、屋内運動場については、調査結果に基づき劣化部分を補修、改修し、引き続き既存建物を使用していきます。

※説明会のお知らせは4ページをご覧ください



2. 整備方針案について

北校舎及び南校舎を全面改築に見直すことで、校舎棟の配置に複数の案が考えられ、現時点では、3つの基本パターンにより整備方針案を検討しています。

- A案 校舎棟を現在の位置、北側に建替える案
- B案 校舎棟を既存のグラウンドエリアの南側に建替える案
- C案 校舎棟を既存のグラウンドエリアの中央に建替える案

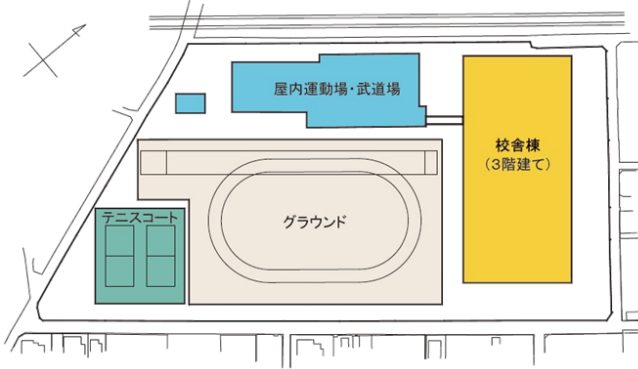
3. 整備方針案ごとの配置ゾーニング図及び工事中ゾーニング図

A案 — 校舎棟を現在の位置、北側に建替える案 —

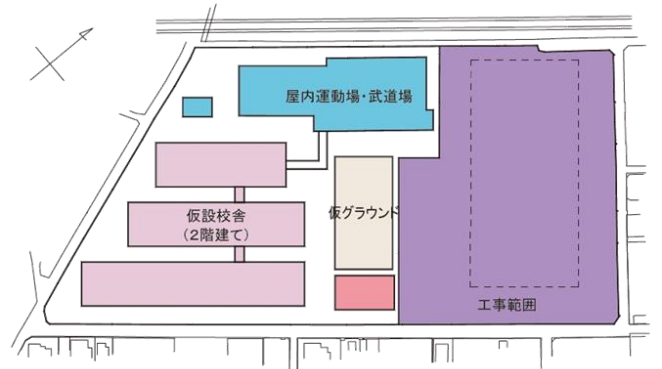
■ 配置上の特徴

- ・北側住宅地への日影などを配慮し3階建てとする
- ・現状位置での改築で近隣等周辺環境の変化が小さい

■ 配置ゾーニング図



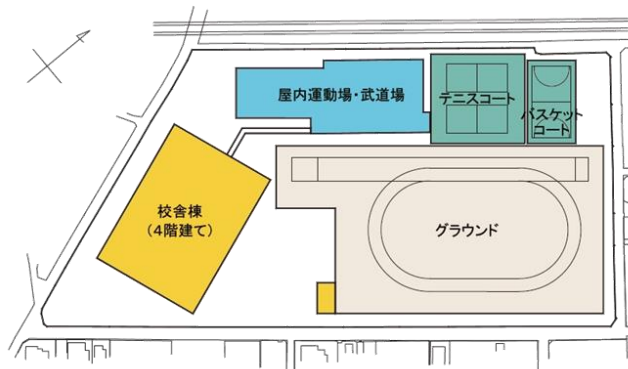
■ 工事中ゾーニング図



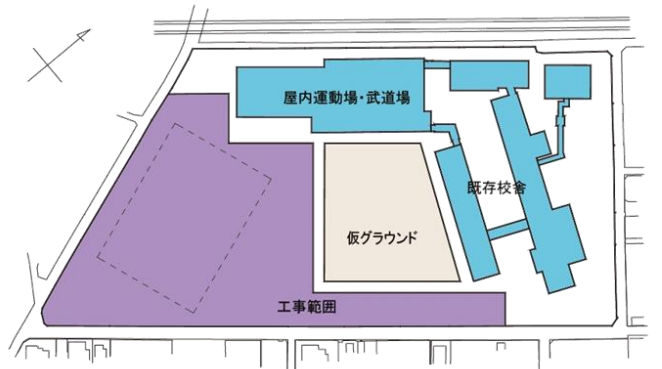
B案 — 校舎棟を既存のグラウンドエリアの南側に建替える案 —

- ・管理諸室から生徒の登下校及びグラウンド活動を目視できるため、防犯・安全性が高い
- ・グラウンドの面積が現在よりも広く確保できる

■ 配置ゾーニング図



■ 工事中ゾーニング図

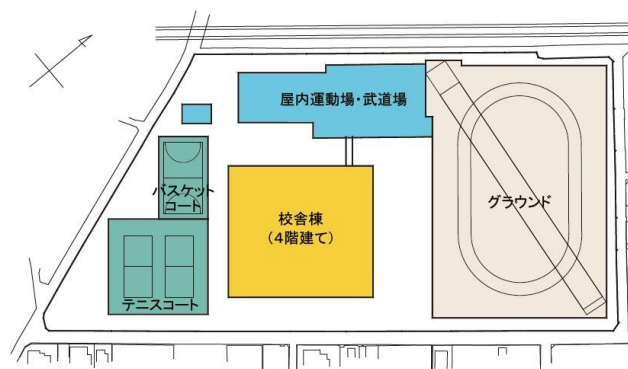


C案 — 校舎棟を既存のグラウンドエリアの中央に建替える案 —

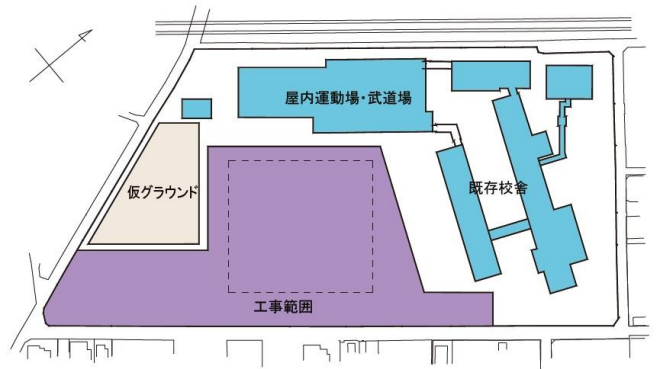
■ 配置上の特徴

- ・近隣との距離を確保した配置で、日影・視線等の影響が少ない
- ・校舎棟が中央にあり、グラウンドとサブグラウンドは離れた配置となる

■ 配置ゾーニング図



■ 工事中ゾーニング図



4. 整備方針案ごとの比較表

これら3つの整備方針案につきまして、工事期間中、事業完成后、整備コスト、全体工期の項目別にメリット、デメリットを比較検討いたしました。

		A案	B案	C案
工事期間中	仮設校舎	△ ・ 仮設校舎の建設が必要で3年以上使用する。 ・ 2階建てとなり、広いスペースを要する。	○ ・ 仮設校舎を設けない計画案。	○ ・ 仮設校舎を設けない計画案。
	仮グラウンド	△ ・ 仮設校舎と新校舎間に設けるため、広いスペースが確保できない。	◎ ・ A案と比較して約2倍程度確保でき、使用期間も短い。	△ ・ 現校舎棟から離れるため管理に課題がある。 ・ 整備費用が必要となる。
	避難場所	△ ・ 避難場所としての仮グラウンド面積が狭い。	○ ・ A案と比較して避難場所としての仮グラウンドが広く確保できる。	△ ・ 工事エリアを挟むため既存校舎から避難しにくい。
	移転	△ ・ 仮設校舎及び新校舎への移転が2回必要となる。	○ ・ 新校舎への移転が1回のみで負担が少ない。	○ ・ 新校舎への移転が1回のみで負担が少ない。
事業完了後	生活環境	△ ・ 普通教室の一部が北側になり、南からの採光が確保できない。	○ ・ 普通教室が全て南西側になり、採光などの環境が良い。	○ ・ 普通教室が全て南東及び南西側になり採光などの環境が良い。
	グラウンド環境	△ ・ 面積は現状程度でそのまま使用できる。 ・ 新校舎の日影の影響がほとんどない。	◎ ・ 面積が一番広く確保できる。 ・ 新校舎の日影の影響がほとんどない。	○ ・ 面積はA案よりも広く確保できる。 ・ 新校舎の日影の影響が多少ある。
	周辺への影響	○ ・ グラウンドと校舎が現状とほぼ同じ位置のため、環境への影響が少ない。	△ ・ グラウンドと校舎の配置が入れ替わるため視線や音など環境の変化が生じる。	△ ・ 敷地の中央に校舎が配置されるため環境の変化が小さい。
	日影の影響	△ ・ 北側住宅地へ新たに日影の影響が生じる範囲がある。	○ ・ 新校舎からの日影の影響はほぼない。	○ ・ 新校舎からの日影の影響はほぼない。
整備コスト	△ ・ 仮設校舎の建設が必要となり、全体の整備コストが割高になる。	○ ・ A案と比較して約9割程度のコストとなる。	○ ・ A案と比較して約9割程度のコストとなる。	
全体工期	△ ・ 仮設校舎の建設が必要となり、全体工期が長くなる。 ・ 新校舎の供用開始が一番遅くなる。	○ ・ 仮設校舎を設けないためA案と比較し、約1年の工期短縮となる。	○ ・ 仮設校舎を設けないためA案と比較し、約1年の工期短縮となる。	

5. 基本設計中間説明会の開催について

現段階の検討状況のご説明と、ご意見等をお聞きする場といたしまして、地域住民及び保護者のみなさまを対象とした説明会を次の日程で開催いたします。

お忙しい中恐縮ですが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

◇基本設計中間説明会◇

日時：2024年（令和6年）1月14日（日）
午前9時から

場所：鶴沼中学校 屋内運動場（体育館） 武道場

※スリッパ等、上履きをご用意いただきますようお願いいたします。

※お車でのご来場はご遠慮ください。

※説明会での内容につきましては、改めて回覧にてご報告いたします。



今後とも、鶴沼中学校改築事業へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

藤沢市教育委員会 教育部 学校施設課

TEL：0466(50)3557

藤沢市役所 計画建築部 公共建築課

TEL：0466(50)3540